



第 1783 回例会 (職場例会) 平成 26 年 4 月 7 日 (月) 12:30~ (株) タカショウ

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「奉仕の理想」
3. 出席報告

会員総数 50 名 出席者数名 33 名
出席率 66 % 前回修正出席率 64 %

4. 会長スピーチ 会長 小椋 孝一 君

皆さん、こんにちは。先日、職業奉仕委員長の宇恵さんの計らいで、職場例会に株式会社タカショウさんに、お話をさせて頂いた所、我々海南東ロータリークラブの為に快くお引き受けして頂き有り難う御座います。

さて、4月はロータリークラブの雑誌月間です。国際ロータリー (RI) の公式機関紙「ザ・ロータリー」および世界 31 の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌（「ロータリーの友」など）に対する会員を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

チエス・ペリー国際ロータリー初代事務総長が創刊した、「ザ・ナショナル・ロータリアン」(1929 年に「ザ・ロータリアン」に改称) が発刊された 1911 年 1 月 25 日を記念して、当初 1 月 25 日を含む 1 週間を雑誌週間としていましたが、その後、4 月に特別月間として改定されました。「ロータリ一定款第 14 条ロータリーの雑誌」には、「各会員は、会員身分を保持する限り RI の機関雑誌、または RI 理事会から本クラブに承認ならび、指定されている地域的なロータリー雑誌を購読しなければならない」と定めています。

5. 幹事報告 幹事 大谷 徹 君 ○メーフィヤップのお知らせ

和歌山北 RC 阪口 洋一 君 3 月 31 日 (月)



○例会臨時変更のお知らせ

粉河 RC 4 月 16 日 (水) → 4 月 13 日 (日)
~14 日 (月)

神戸市方面 親睦家族例会
那智勝浦 RC 4 月 24 日 (木) → 4 月 24 日 (木)
なばなの里 日帰りバス旅行

6. 株式会社タカショウ

代表取締役社長 高岡 伸夫 様

タカショウは 1980 年、ガーデンの文化を世界に発信しながら、Heart&Art (安らぎのある空間作り) をビジネステーマに、グローバルでハイタッチなガーデン、庭暮らしのライフスタイルメーカーを目指していこうと創業されました。戦後から衣、食、住と生活が向上し、家の次には、庭での暮らしをキーワードになり、家と庭、両方のバランス（家庭の暮らし）が大事になると想いました。また、タカショウは“風、光、水、緑”をコンセプトとして“心で感動する”をテーマに掲げ、設計施工を必要とする商品を販売しているプロユースと、自分で買って楽したいという方



向けの商品を販売するホームユースと、大きく分けて 2 つの事業部で展開しております。



グローバル展開の基本である海外への展開としましては、EU に子会社であるタカショーヨーロッパがあり、大きく成長して現在 3,000 店舗近い小売店に販売するまでになりました。中国も、韓国も、台湾も、プロユース、ホームユースそれぞれの市場へ販売が広がり出している中、益々今後の期待が大きくなっています。

私たちタカショーグループの扱う商品の多くは、重

四つのテスト 實行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 S A A：重光 孝義

たい物、かさばる物、長い物の組み合わせですが、お客様にガーデンでの暮らしを、幸せな笑顔と家族の喜び、楽しさがあふれる空間としていただきたい、そのための知恵と汗と心、そして人に対する思いが私たちの一番の商品であると自負しております。それこそが私たちの提唱する“リビングガーデン”であります。

さらに、タカショウが大事にしているのは、“人が未来を作り、すべては人が創る”という言葉であります。どうか、タカショウの思いをご理解いただき、すばらしい環境と文化型産業に貢献していく企業として成長させていただきたいと思っております。

わが家の庭を、家族にとって居心地がよく、心安らぐ空間にしたい。そして、お知合いやご近所の方々に対しても、日常生活のなかでの心癒される風景であると共に、憧れの存在であってほしい。そんな思いを私たちにしていただきため、タカショウでは庭空間を構成・演出する「風・光・心・水・緑」の、5つの要素を大切にしています。私たちは、タカショウの庭づくりの基本ともいえるこの5つの要素にこだわりながら、心と体を癒してくれる“オアシス”のような庭づくりをお手伝いします。

7. 閉会点鐘

次回例会
第1784回例会 平成26年4月14日(月)
18:30~ 花見例会
神田屋 (海南市藤白)
お誕生・結婚記念日御祝い



ニコニコ・BOX

小椋 孝一 君 本日、(株)タカショウさんにお世話になります。
大谷 徹 君 本日、高岡社長お世話になります。卓話宜しくお願ひします。
上中 嗣郎 君 ようこそ 北赤坂へ来て頂きました。
山東 剛一 君 土曜日に会長エレクト懇談会で、河内長野まで行って来ました。



Rotary ロータリージャパン

東南アジアでポリオ撲滅を達成

3月27日、世界保健機関(WHO)は、東南アジア地域でポリオ撲滅が達成されたことを公式に宣言しました。これは、同地域での長年にわたるポリオ撲滅活動

が実を結び、ついに撲滅が達成されたものです。東南アジアに含まれるインドは、5年前に全世界のポリオ感染数の半数近くを占めていましたが、2011年1月13日に西ベンガル州で最後の野生型ポリオウイルス感染が報告されて以来、ポリオのない状態が続いていました。

3月27日にインドのニューデリー州で開かれたWHO東南アジア地域ポリオ根



絶認定委員会の会合に出席し、撲滅達成の重要性をあらためて強調しました。「ついに、東南アジアからポリオをなくすことができましたが、残るアジア地域とアフリカでも、撲滅を達成しなければなりません」今回、ポリオ撲滅が宣言されたのは、バングラデシュ、ブータン、北朝鮮、インド、インドネシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、東チモールを含む地域で、世界人口の約25パーセントにあたる、18億人以上が暮らしています。

WHOは、今回の東南アジア以外にも、アメリカ大陸(1994年)、西太平洋地域(2000年)、ヨーロッパ地域(2002年)のポリオ撲滅を既に宣言しており、2018年までにポリオのない世界を実現するという目標に向けて拍車がかかりました。

東南アジアでは、都市部の人口密集、移動の多い民族、衛生問題など、ポリオ撲滅を妨げる数多くの課題がありました。ロータリーのインド・ポリオプラス委員会で委員長を務めるディーパク・カプール氏も、困難を極めた自国での活動について語ります。「課題や障害を乗り越えて撲滅を達成するまでに、政府とパートナー団体が総勢でこの大きな仕事に取り組みました。全国一斉予防接種からその後のフォローアップまで、インド国内の10万人以上のロータリー会員が全力で活動にあたりました」さらに、「これまでの広範にわたる活動を通じて、イスラム教徒やそのリーダーにポリオ予防接種に対する理解を深めてもらい、また信頼関係を築くことができた」と指摘するのはアショク・マハジャン氏(ロータリー財団元管理委員)です。ロータリークラブの中には、ポリオ予防接種と同時に、はしかの予防接種、無料の健康診断、医療品、ビタミンA剤、メガネなどを提供し、より包括的な保健医療支援を行ったところもありました。

国際ロータリーの元会長、ラジェンドラ・サブー氏も、今後の取り組みに期待を高めて話します。「これまでの教訓や活動経験を基に、今度はインドがほかの国のために活動するとき。ほかの国の子どもたちを守り、そして自国の子どもたちも守るために、全力で支援を続けなければなりません。インドでのポリオ撲滅、そして東南アジア地域での撲滅宣言を足がかりに、ポリオ撲滅への声を一層高め、全世界でのポリオ撲滅まで最後の一押しが必要です」